

「カジノ解禁に対する反対声明」について

生団連では、「国民の生命・生活を守る」という使命に基づき、「カジノ解禁」の是非につき、日本という国のありようにかかわる全国民的問題として議論してまいりました。これを踏まえ、生団連は本日別添の通り「カジノ解禁に対する反対声明」を公表いたしました。

平成30年3月26日

国民生活産業・消費者団体連合会（生団連）

TEL：03-6833-0493

FAX：03-6833-0494

カジノ解禁に対する反対声明

平成30年3月26日
国民生活産業・消費者団体連合会（生団連）

生団連は我が国における「カジノの解禁」に対して反対の意を表します。

IRの名を借りた「カジノ解禁」がいよいよ秒読み段階となっており、今国会でも関連法案が審議される見込みです。

カジノを含むIRの誘致は地方活性化の起死回生策と言われていますが、これは誘致を希求する地域に限った問題ではなく、日本という国のありようにかかわる全国民的問題です。

生団連は、世界から尊敬される高い品格をもった国づくりを目指すというその理念に照らし、以下の観点から政府および誘致を表明する自治体はじめ関係各位に再考を強く求めるものです。

(1) 「カジノ」は我が国にふさわしい観光振興策なのか

観光や地域振興のためには、日本の各地域ならではの魅力をもっと世界に向けて発信していくことこそが何より重要であると考えます。

我が国は美しい自然や景観、そして世界に誇るべき歴史や伝統、文化に恵まれ、そして何よりも、おもてなしの心を持つ多くの国民を有する国です。地方にもその地方独特の観光客の心を捉えて離さないような魅力ある観光資源や財産があります。

観光資源の乏しい国や地域が集客手段とする賭博施設に頼らなくても、こうした我が国ならではの観光資源の持つ潜在力をいかに発揮していくかということに工夫を凝らし、力を注いでいくべきではないでしょうか。

(2) 「カジノ」は本当に地域経済振興に資するのか

カジノの運営に対し、そのノウハウを有するとする数々の外資の運営会社が名乗りをあげています。カジノによって一義的に利潤をあげるのはこうした運営会社であります。したがって、経済停滞に喘ぐ地方が経済振興の起爆剤としてカジノ誘致に期待しても、地域の魅力とリンクしない賭博施設は、果たして健全で持続的な当該地域の振興と発展をもたらすのでしょうか。逆に、日本そして地方の魅力の発見や地元の人たちとの交流を求めてやってくる真の我が国のファンを遠ざけることにはならないでしょうか。カジノ誘致を検討している地域の地元住民には依然根強いカジノ反対の声があります。こうした地域では、カジノ目当ての観光客と地元住民との交流など望むべくもありません。

(3) 青少年の健全育成への悪影響

社会的悪影響の問題としてギャンブル依存症が多く議論されていますが、その対策の実効性については誰も確証を示すことはできません。また、生団連はこの問題以上に制度的な手当てでは解決が難しい「青少年の健全育成への悪影響」が最も懸念される問題であると考えます。家族で出かける先にカジノが併設されている IR 方式では、青少年の賭博に対する抵抗感の薄弱化は避けられないでしょう。青少年の心の持ちようが次代の我が国のあり方を決するという意味でも、ここは最大に憂慮すべき問題であると捉えています。

以上